

表2-5-1-3 環境分野の主な調査・研究の概要

【保健環境センター】

研究機関名：保健環境センター（ <a href="https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/tyosakenkyu.html">https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/tyosakenkyu.html</a> ）	
1	<p>調査研究名 宮城県におけるPM2.5高濃度予測時の成分分析（令和5年度～令和6年度）</p> <p>目的 微小粒子状物質(PM2.5)は呼吸器・循環器への影響が懸念されているが、その対策を検討する上で詳細な成分分析が必要となる。そのためには高濃度等のイベント発生時も含めた成分分析が有効であるが、定期的な試料採取だけでは高濃度日を捉えることが困難である。そこで機械学習によりあらかじめ高濃度日を予測し、試料採取・成分分析をすることにより、発生要因の推定に繋げる。</p> <p>概要及び成果 機械学習において条件等を設定し、高濃度となる日の予測を行った。また定期調査や高濃度が予測される期間に名取自排局、石巻西局地点及び保健環境センター屋上で試料を採取し、質量濃度を測定するとともに、成分分析を実施した。</p>